

注射薬入手できず 血糖コントロール不良も



厚労省の担当者に要請書を手渡す 武田部長(左から2人目)ら

社保・審査対策部の武田浩一郎部長は「医薬品供給不足は、後発品中心の薬価引き下げによる医療費抑制政策を進めてきた結果だ。一旦立ち止まっ

命に関わる深刻さ — 協会調査 要請では、大阪協会、岡山協会、四国ブロックの各協会が行った調査を基に、咳止めや去痰薬に留まらず100種類を超える医薬品が不足し、他剤への切り替えや休薬によつて健康管理にも支障を来している状況を明らかにした。

後発医薬品メーカーによる製造不正に端を発した供給不安定が深刻だ。全国保険医団体連合会(保団連)は11月9日、大阪協会、岡山協会、四国ブロックの各協会と共同で、医薬品の供給不安定を国の責任で改善するよう厚労省に要請した。その内容を記者発表し、全国で報道された。

国の責任で安定供給を 厚労省に対応求める

(2面で調査詳報)

岡山協会の田中正子事務局長は、「不足する医薬品は、糖尿病、高血圧、抗うつ剤など命に直結するよつな薬にまで広がっている」と警鐘を鳴らした。

処方変更あり得る 患者へ周知を

要請では、医療現場の混乱に対して、政府として、患者・国民に医薬品供給不足の状況や、処方変更等が起り得ることを周知するよう求めた。

先発薬の保険給付外し 皮膚科は死活問題

ジェネリック医薬品を推進するため、特許切れの先発薬(長期収載品)を一部保険給付から外そうとする動きがある。大阪市で皮膚科を開業する今井康友さんに現場の声を聞いた。



大阪協会 今井康友さん

皮膚科で使用される外用薬は、先発薬とジェネリックで「薬剤」が異なるため、薬効や副作用の出やすさ、使用感などに大きな違いがありま

全国保険医新聞

11月25日

2023年

発行所 全国保険医団体連合会 東京都渋谷区東 2-5-5 151-0053 新宿農協会館内 03(3375)5121 03(3375)1885 発行人/住江 憲典 振替口座 00160-0-140346 購読料 年共1ヵ月750円 (会員の購読料は、会費に含まれています)

主な記事

2 医薬品供給不安定

「医療現場に薬がないなんて」 医薬品供給不安定の協会調査で患者への深刻な影響が浮き彫りに。

4 保険証を残そう!

医師・歯科医師、弁護士らが警鐘 11・9国会集会を開催。



3 中医協ひろい読み

健保連 外来管理加算廃止を主張

3 診療報酬改定要求

4 自治体意見書続々 保険証存続に向けて全国の自治体で意見書採択が広がる

6 歯科医療提供体制の充実に向けて

6 夢の実現と言葉 Women's Eye159

7 傷跡(6)

三十一文字のカルテ⑨

記事検索で情報をキャッチ



https://hodanren.doc-net.or.jp/

新連載

選択的夫婦別姓

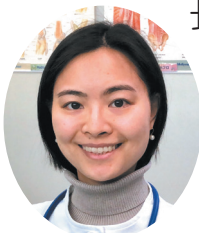
夫婦別姓を認めていない国は世界で日本だけ。国連の女性差別撤廃委員会などから再三勧告を受けているが、国会での議論は進んでいない。夫婦別姓に関する法律や歴史、諸外国の状況はどうなっているのか—。

「別姓訴訟を支える会」のリレー連載で考える。第1回は同会代表の福沢恵子さん。

→7面

特別インタビュー

事実婚9年目の医師、長山さんの願い



「自分の名前」で生きることを選んだ女性医師に、選択的夫婦別姓について思いを聞いた。

→8面

羅針盤

岸田首相は 来年6月から 定額減税を 実施すると 発表された。 経済重視をうたう 政権としては 体的な政策の第一番とい うことになるのだろうか。 また、再来年に予定して いた児童手当の拡充を 来年12月に前倒しすること も表明している▼来年は 増税しないとは言っているが、インボイス制度が 10月からすでに始まって おり、実質増税だ。また、 来年から帳簿の電子デー タ保存の義務化により、 領収証などのデータがな いと経費として認められ ず増税になりかねない。 経済政策に全くなっていない▼岸田政権の 支持率の低迷を自民党幹部の 世耕参院議員から「リーダ ーとしての姿勢を示せて いない」と指摘されてい る。大きく振りかざした 経済政策からして国民か ら見透かされる状態だか ら致し方ない▼来年は増 税はしないと言つこと自 体、そのうち上げますよ とやっているようなもの だ。防衛費増を国民の 反発をよそに実行しよう としていることも見え見え である▼自分の金は自分 が思うように使いたい。 税金をたくさん取られる と自分で使う金がなくな る。集めた金を支持団体 にはら撒くのであればい つまでも景気の浮揚は見 込めない。(AT)